

団体名 勝山三山を守る会 (下関市)

代表者名	原田 進造	団体の目的
構成員数	72人	勝山三山(青山、勝山、四王司山)及び勝山御殿跡を活動の場として、自然の景観と歴史を守り、人々の親睦とやすらぎを育み、うるおいと活力のあるまちづくりに努める
設立	1997年(H9年)11月	
問い合わせ先	083-256-0882(原田)	

事業名 勝山三山の紙芝居作成と登山案内

- 事業の目的**
- ・ 山頂の説明看板や登山道の標識等を更新し地域の魅力を高めるとともに、登山ガイドにより登山マナーや環境保全意識の向上を図る。
 - ・ 勝山三山の歴史を紹介する紙芝居により、地域住民の郷土への愛着を深める。

- 事業の内容**
- ・ 紙芝居「勝山三山物語 四王司山と勝山御殿編」の作成
開催日：5月～10月
内容：会員の手作りで勝山三山や勝山御殿の歴史や魅力を紹介する紙芝居を作成
 - ・ 紙芝居上演
開催日：11月22日・23日 場所：勝山御殿跡 参加者：100人
内容：勝山御殿表門の模型展示に合わせて、紙芝居を初上演
 - ・ 登山道等の整備
開催日：6月～3月 場所：勝山三山の山頂及び登山道
内容：・ 登山ルートのご案内標識、案内板の作成・設置
・ 山頂にある歴史の説明看板を作り直し、新たにQRコードを掲載
 - ・ 青山、勝山、四王司山ごとの登山ガイド説明書の作成

- 事業の成果**
- ・ 紙芝居により、幅広い世代に地域の歴史や魅力を伝えることができた。
 - ・ 登山ガイド説明書や説明看板の作成により、登山者も勝山三山の歴史を容易に理解できるようになり、登山の魅力を高めることができた。

活動現場レポート 勝山御殿 御殿表門の模型展示 (R2.11.22/勝山御殿跡)

この日は、会員の皆さんがストーリーや作画を手作りされた紙芝居「勝山三山物語 四王司山と勝山御殿編」が初披露されました。

開始の合図の拍子木が鳴ると、家族連れなど地域の皆さんが集まり、原田会長の挨拶に続いて、紙芝居が上演されました。

おじいちゃんと孫の勝哉の会話でストーリーが進み、飛鳥から明治までの歴史をわかりやすく紹介されました。アドリブを交えながら上手に話されたので、最後まで楽しく見ることができました。上演後は「良かったよ」のかけ声とともに大きな拍手があり、観客の皆さんもとても楽しまれた様子でした。



上演の様子



紙芝居を楽しむ観客